

## ◎ 2nd 終了、次なるステージに向けて

新年度が始まります。中村県政は「人口減少対策」を最重要課題と位置づけ、選択と集中で積極的な予算編成を行っています。前号でも意見しましたがその成否の鍵は「市町との連携強化のうえでの有効的な施策の展開」にあると思っています。例えば以下にあるような「雇用の場の確保と若者の県内定着対策の強化」が市町とどのような協議を行いこのような新規事業を打ち出したのか、また、ではこれを受けて市町では役割分担のなかどのような事業を展開するのか…このようなことを外部から見えるようにする、これが「連携の見える化」です。見えることにより議会での論議が活発になったり、民間の取り組みが広がることを期待できます。

### 「人口減少対策」重点プロジェクト①：雇用の場の確保と若者の県内定着対策の強化

施策の方向性	◎雇用拡大につながる事業拡充等の支援 ◎学生と県内企業が交流する機会の拡大	◎県内企業の認知度向上 ◎県外進学者等のUターン就職の推進 等
--------	--	------------------------------------

事業名	事業概要	予算額 (百万円)
【新】地域産業雇用創出チャレンジ支援事業費	国の新たな政策パッケージや地方創生交付金を活用し、地域の雇用創出につながる事業拡充や創業、事業承継にチャレンジする事業者を支援 ・創業支援：最大200万円×30件 ・事業拡充支援：最大400万円×50件、事業承継支援：最大100万円×10件	223
【新】人材確保に向けた企業の魅力向上事業費	県内企業による魅力向上に向けた主体的取組を促し、若者に選ばれる雇用環境づくりを進めるため、企業内の人材育成やキャリアパス構築、採用力向上等を支援 ・キャリアパス導入に向けた説明会・相談会・講習会 ・県内企業情報誌（NR）発行、Nなび改修	14
【新】学生と企業の交流強化事業費	機能強化したキャリアコーディネーター等を中心に、学生と企業との交流機会充実を推進 ・県内のキャリアコーディネーターの増員による企業や学生へのアプローチを強化 ・大学1・2年生向けセミナー開催、業種特化型合同説明会開催 など	28
【新】県外進学者Uターン就職促進事業費	本県からの進学者が多い福岡県・首都圏の学生に対し県内企業を知る機会を提供するとともに、SNSの活用により県内就職情報等を発信することで、地元就職に対する意識を醸成 ・福岡、首都圏にキャリアコーディネーターを各1名配置 ・SNSを活用したふるさと情報発信 など	28
【新】高校生の県内就職促進事業費	高校生がふるさとの魅力と県内企業の魅力に触れ、県内で働くことに対する意識を醸成	18
高校生のためのふるさと長崎就職応援事業費	県外就職率が高い工業高校等にキャリアサポートスタッフを配置し、生徒や保護者に県内就職の魅力伝えるとともに、学校と県内企業の連携を強化し、県内企業への就職を支援	64
【新】ふるさとを活性化させるキャリア教育充実事業費	生徒が地元企業等の協力を得ながら仮想会社設立等に取り組む職業体験学習を実施・検証し、本県の将来を担おうとする実践力を育む学習プログラムを構築	3

さて、私は県政課題のなかで本県経済の活性化が大きなミッション（使命）であり、そのことこそが人口減少対策の大きな柱であると認識するなか「産業振興基金創設による地場企業支援」「若者に選ばれる街づくり」「企業誘致の方針を将来性のある製造業・IT産業へ、海洋産業創出」「取り組み方を変える（市町との連携協定）」と4つのアクションで特に県都長崎市の経済活性化を訴えています。是非どこかの場面で私の思いをもっと詳しくお聞きくだされば幸いです。

「まえてつ通信 2nd」は88号をもって一旦終了します。月2回のペースで通信することを心がけましたが少し回数が足りませんでした。しかし継続できたことはひとえに皆様がお読みくださるからこそ。「もっと身近な話題を」等叱咤激励も頂きました。次の3rdにご期待ください。そのためにも今の厳しい戦いを勝ち抜きます。本当にありがとうございました。